



新しいエンターテインメントとの出会いがた [Metro Concourse Vision]

放映期間:2017年5月1日(月)~5月21日(日)

デジタルOOHのダイナミックな活用で スポーツイベントを盛り上げる。



生活導線×非日常コンテンツで アテンションの、その先へ。

株式会社ジエブ

イベントを盛り上げるストーリーをつくる。

ロンドン五輪のボクシング金メダリスト、WBA世界ミドル級2位の日本人選手が世界タイトルをかけて初挑戦する。話題性十分とはいえ、ボクシングは日本ではまだまだマイナーなスポーツ、注目を集めるのは難しい。しかし、プロ転向以来無敗を続けてきた村田諷太選手の節目となる今回の試合には、多くの声援を集めた。そこでスポーツイベント運営を手掛ける株式会社ジエブと大手広告代理店の株式会社電通は、様々なターゲット層が利用する「駅」を効果的にメディア活用し、村田戦を盛り上げるストーリーを作っていた。



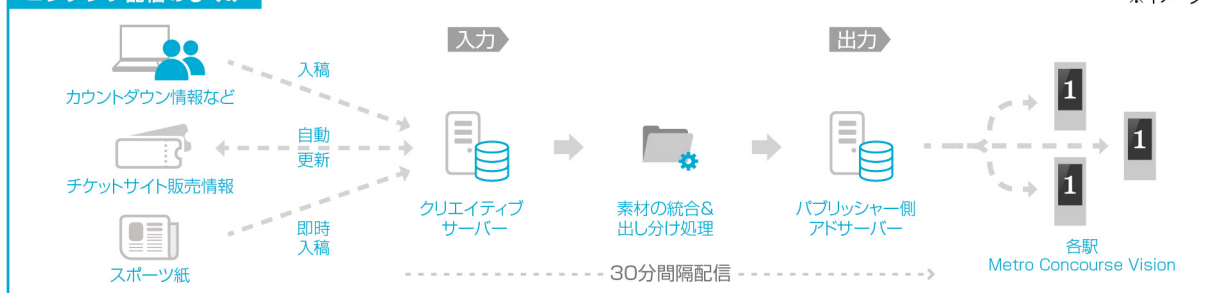
「ファンじゃなくても」目が留まる仕掛け。

仕掛けの主役は、駅のコンコースに連続的に設置されたデジタルメディアMCV(Metro Concourse Vision)。スポーツ新聞のニュースソースと連動した村田選手の最新情報を伝える記事や、試合日までのカウントダウン、チケット販売情報などを、ネットワークを介してリアルタイムに、ダイナミックに配信できた。コンコース一帯がボクシング一色に染まる瞬間は圧巻の風景で、通勤や通学で日々目にしていれば、ボクシングファンでなくとも村田戦が気になってしまったはずだ。



今回の事例は、MCVを中心に選手・運営(チケット販売)・スポーツ紙がタグを組んで自前の情報を出し合い、ネットワークでつながりながらひとつのスポーツイベントを盛り上げていった。それらのシナジー効果でイベントの注目度が上がり、新たなファン層も獲得できたという「人とテクノロジーのコラボレーション好例」と言えるのではないだろうか。

コンテンツ配信のしくみ





新しいファン層を発掘、醸成、獲得していくメディア連携のかたち。

今回は“駅”というメディアのパワーを実感しました。チケットの売れ行きが好調だったことや、試合の視聴率が良かったことはもちろん、選手への注目度も高まりました。普段だったらリーチできないボクシングファン以外の方からもたくさん反響をいただけて、試合が終わってもSNSでフォローしてくれるファンの方が増え、一過性ではない、満足度の高い取り組みだったと感じています。

“駅”で広告され、ボクシングファン以外の方にも注目されたことはもちろん、選手にとっても良い励みになりました。

株式会社ジエブ
企画部 野口 哲男様



情報の受け手がセグメントされがちなコンテンツを、あえて特定のファン以外にもリーチできるメディアで発信することに意味を感じました。

株式会社電通
スポーツ局 大渡 博之様



セグメントされがちなコンテンツをオープンにしてくれるMCVの仕組み。

スポーツコンテンツの配信とMCVの親和性は高いと思いました。東京の中心地で1日180万人に接触できる媒体という特性から、今回はボクシングに興味のある人もない人も、なかば必然的にタイトルマッチの存在に気づかされました。その効果もあってか、過去の対戦では10%前後だったところ今回は17.8%という高視聴率をたたき出しました。

ダイナミックなコミュニケーション手法に合うメッセージ開発が鍵に。

MCVのコンテンツ配信の仕組みには、以前から可能性を感じていました。選手の情報、試合までのカウントダウン、チケット販売状況に外部からのリアルタイムな客観データがダイナミックに絡み合い、情報を補完し合って試合を盛り上げてくれました。一目見てわかるようなメッセージの出し方にはまだまだ改良の余地があると感じています。

さまざまな情報をダイナミックに配信できるMCVの仕組みには以前から可能性を感じていました。

株式会社電通
アウト・オブ・ホーム・メディア局 現王園 章太様



プロモーションの流れ



今回の媒体は… [Metro Concourse Vision/1 week スポット]

メトロ駅構内の主要エリアの柱に連続で設置されたデジタルサイネージです。ネットワーク販売や、単駅ジャック販売など多種多様な商品構成となっています。近年では外部サーバーとの接続事例も増え、よりリアルタイムでタイムリーな放映が可能になってきています。時間や場所、さらには天気や気温など、様々なシチュエーションにマッチした広告展開が可能なメディアです。

- 放映期間:7日間
- エリア:12駅16エリア
- 面数:209面
- 広告料金:1,500,000円(税別)

※詳細は下記までお問い合わせください。
※エリア・面数は当キャンペーン実施時点のものです。



発行・お問い合わせ
株式会社メトロアドエージェンシー 媒体本部

〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-21 NBF虎ノ門ビル7階
TEL 03-5501-7835 FAX 03-3593-6150
http://www.metro-ad.co.jp